

学習等の支援にあたって地域に望むこと

2016年6月28日

NPO法人アスクネット

参加生徒の声 (2月の個人面談、アスクネットが実施)

- ・前向きに挑戦するようになった。自分の意見を大切にして言おうと思うようになった。(中1)
- ・自分で積極的に勉強することが増えた。苦手なところをやるようになった。(中1)
- ・学校でいろんな人と話すようになった。(中3)
- ・大人からのアドバイスで自分自身の課題を意識することができた。(中3)
- ・人と関わることが楽しくなってきた。(中3)

⇒ 安心して関わることができる多様な大人との出会い、受け入れられる場所があることが、精神面での安定や成長につながっていると考えられる

高浜市学習等支援事業「ステップ」 平成27年度の成果

◆成果

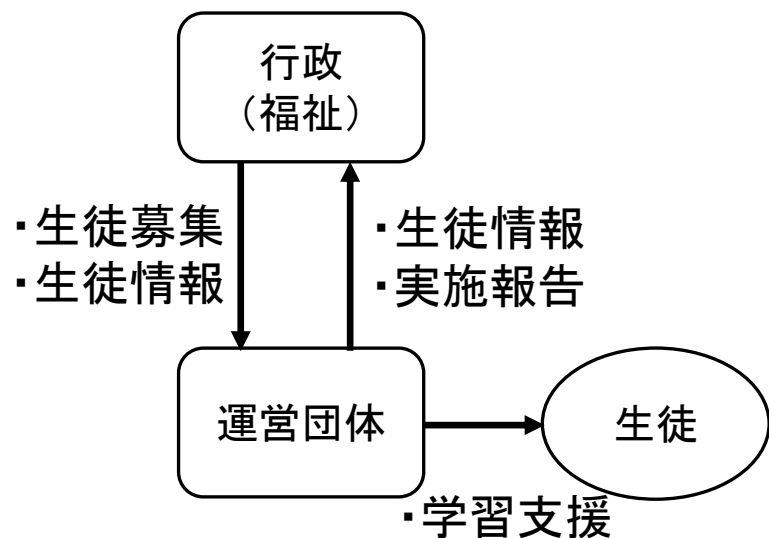
- ①生徒の継続的な参加:約20名の生徒が継続的に参加
- ②中3生の進学:継続参加していた中3生のほとんどが希望の進路に進学
- ③学生ボランティア:質の高い学生の確保
- ④教育委員会・学校との連携:生徒募集、生徒情報の共有、教員の見学、合同研修の実施
- ⑤地域との連携:昼食支援体制、キャリア教育に関する講座協力

⇒生徒の支援に一定の成果が見られた要因は「連携体制」にあると思われる

高浜市学習等支援事業「ステップ」 連携体制

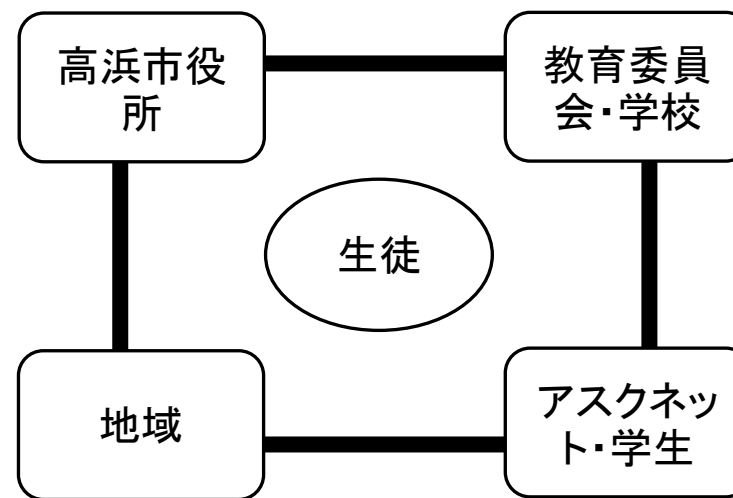
◆他の自治体と異なる連携体制

【多くの学習支援の連携体制】



・生徒情報が一部の関係者だけに留まる。

【高浜市学習等支援事業の連携体制】



・様々な視点から生徒に支援ができる。

高浜市学習等支援事業「ステップ」 連携体制の必要性

◆連携体制の必要性

- ・必要な支援は個々の生徒によって異なる(学習支援or生活支援orキャリア支援など)
- ・他者とのつながりが希薄(母接触が少ない、仲間遊びが苦手、授業理解困難、虐待、居場所なし)になることで、不登校のリスクが大きく上昇する(コミュニティカルテ調査より)

⇒多様な大人が関わる(見守る)体制作りが必要

- ・生徒にとって必要な支援内容を多面的・多角的視点で考える
- ・生徒について相互に情報交換を行うことで、それぞれの立場で必要な支援を行う

⇒円滑な生徒情報共有の体制作りが必要

高浜市学習等支援事業「ステップ」 学習等の支援にあたって地域に望むこと

◆地域に望むこと

①教育委員会・学校との連携

・参加生徒の情報共有

⇒学校の様子とステップの様子の情報共有体制の構築

(案)出席状況の定期報告の仕組み作り:個人情報保護、共通様式作成などの課題

ステップからの定期報告の仕組み作り:保護者・教員向けの連絡体制作りの課題

・教員との情報交換

⇒相互理解による生徒に対する支援内容の充実

(案)相互見学や意見交換の機会

高浜市学習等支援事業「ステップ」 学習等の支援にあたって地域に望むこと

◆地域に望むこと

②地域との連携

- ・キャリア教育支援に関する協力体制

⇒商工会や地域団体と連携したイベント等の実施

(案)地域イベントの協力、体験活動等の実施

③支援の継続性

- ・中長期的な貧困対策

⇒切れ目のない支援体制の構築(高浜市独自の支援体制)

(中期)各方面への連携体制作り、生徒の追跡調査

(長期)支援の自立化、生徒の追跡調査